



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 長野日本無線株式会社

コード番号 6878 URL <http://www.njrc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員総務本部長

(氏名) 蛭田 公広

TEL 026-285-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,484	3.4	256	△29.9	162	△33.7	107	△49.4
24年3月期第2四半期	13,044	△3.5	366	18.1	245	87.0	212	651.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 93百万円 (△52.7%) 24年3月期第2四半期 197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.95	—
24年3月期第2四半期	5.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	21,932		4,584		20.9
24年3月期	22,771		4,491		19.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,584百万円 24年3月期 4,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.8	1,100	19.8	900	23.3	750	30.3	20.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	36,420,538 株	24年3月期	36,420,538 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	9,196 株	24年3月期	9,196 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	36,411,342 株	24年3月期2Q	36,411,710 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び道理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
(4) 中長期的な会社の経営戦略	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	11
(1) 生産および受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要などを背景に、企業収益、雇用情勢は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務危機による世界経済の減速や円高の長期化などにより、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経済状況の下、当社グループは、「お客様価値の創造、グローバル展開、企業体質の変革による収益力の向上」を方針とし、積極的な受注活動に取り組むとともに、生産性向上のための業務プロセス改革および業務のIT化の推進についても継続して進めてまいりました。

売上高は、前年同期に比べ、電源・エネルギー機器セグメントは低迷したものの、情報・通信機器およびメカトロニクス機器セグメントが堅調に推移したことにより、134億8千4百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

利益につきましては、厳しいコスト競争に加え、ノートパソコンの需要低迷が重なったことにより、電源・エネルギー機器の収益が悪化したことなどから、営業利益は2億5千6百万円（前年同期比29.9%減）、経常利益は1億6千2百万円（前年同期比33.7%減）、四半期純利益は1億7百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

セグメント別の売上高および営業損益は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの営業損益は、配賦不能営業費用控除前の営業損益であります。

(情報・通信機器)

公共インフラ設備機器、官公庁向け機器などの通信機器は増加しましたが、業務用情報端末などの情報端末機器が減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は62億2千3百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は3億1千7百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

(メカトロニクス機器)

複写機周辺機器などの事務用機器および生産設備機器は増加しましたが、医用機器が減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は37億4千7百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は3千5百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

(電源・エネルギー機器)

ハイブリッド車用の電子部品は増加しましたが、ノートパソコン用アダプタ等のコンシューマ電源が減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は28億3千9百万円（前年同期比8.0%減）、営業損失は9千2百万円（前年同期は営業損失3千6百万円）となりました。

上記のセグメントに含まれない「その他」の売上高は6億7千4百万円（前年同期比26.7%増）、営業利益は8千万円（前年同期比2.3%増）となりました。配賦不能営業費用は8千3百万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末に比べ、8億3千8百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少13億7千6百万円、原材料及び貯蔵品の増加7億7千4百万円、現金及び預金の減少3億4千4百万円などが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ、9億3千1百万円減少しました。短期借入金の増加8億2千万円、支払手形及び買掛金の減少6億8千4百万円、長期借入金の減少6億7千2百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億7千7百万円、未払金の減少1億5千2百万円などが主な要因です。

純資産は前連結会計年度末に比べ、9千3百万円増加しました。資本剰余金の減少28億4千万円、利益剰余金の増加29億4千7百万円などが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、期初の予想数値を上回る見込みとなったため、平成24年10月25日付で予想数値の修正を行いました。通期の業績予想につきましては、生産工場を置く中国の動向が不透明であるなど事業環境が流動的であるため、現時点では平成24年5月8日公表時の予想数値を変更しておりません。

(4) 中長期的な会社の経営戦略

今後の経済見通しにつきましては、欧州における経済・財政危機、さらに中国経済の減速など、予断を許さない状況が続くものと考えられます。その中で、当社グループを取り巻く経営環境も、大変厳しい状況が予想されます。

このような状況の下、当社グループは、アライアンスの拡充に基づく事業領域の拡大を基本戦略とし、成長戦略の具現化と生産改革の推進に取り組んでおります。

さらに、本年9月、日清紡ホールディングス(株)のエレクトロニクス事業を構成する4社のうち通信事業を核とする当社、日本無線(株)および上田日本無線(株)の3社において、新たな成長に向けた抜本的な事業構造改革の骨子を決定いたしました。

展開中の諸施策の実施に加え、本構造改革を確実に実行し、エレクトロニクス3社で成長戦略を共有することにより、グループ経営の機動的運営を強化し、事業の飛躍的發展を図ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(原材料の評価方法の変更)

従来、当社は原材料において移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より主として総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)に変更しております。

当社では、コスト競争力の強化に向けた生産改革の取り組みを行っており、当連結会計年度から、製品毎の部材購入方式から標準部材を複数製品用一括購入するシステムを導入したことから、より適正な期間損益を算定することを目的として、上記の会計方針の変更を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。これによる、前第2四半期連結累計期間の売上原価および1株当たり四半期純利益金額に与える影響は軽微であります。また、前連結会計年度における原材料及び貯蔵品、利益剰余金および期首の純資産に与える影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社および国内連結子会社4社では、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(附属設備は除く)については定額法)を採用しておりましたが、連結決算を行っている親会社と会計処理を統一するため、第1四半期連結会計期間から、すべての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更しております。

これは、当社のその他の関係会社である日本無線(株)の事業構造改革の取り組みにより、当連結会計年度において、今後の当社グループの設備投資は汎用設備の割合が高くなり、その稼動もより安定的になることが見込まれることとなったため、定額法がより事業の実態を反映することになると判断したことによるものです。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が52,372千円、それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,057	698,221
受取手形及び売掛金	8,464,950	7,088,807
商品及び製品	509,061	519,758
仕掛品	5,147,334	5,186,743
原材料及び貯蔵品	1,023,076	1,797,749
繰延税金資産	229,487	222,070
その他	247,508	241,152
貸倒引当金	△25,097	△21,865
流動資産合計	16,639,379	15,732,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,385,821	1,385,974
機械装置及び運搬具(純額)	338,184	420,712
土地	3,432,429	3,432,429
リース資産(純額)	218,153	191,266
建設仮勘定	161,080	145,794
その他(純額)	109,065	135,134
有形固定資産合計	5,644,735	5,711,312
無形固定資産		
投資その他の資産	75,048	107,253
投資有価証券	182,660	150,858
繰延税金資産	22,314	22,835
その他	227,965	228,508
貸倒引当金	△20,490	△20,540
投資その他の資産合計	412,450	381,661
固定資産合計	6,132,234	6,200,227
資産合計	22,771,613	21,932,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,804,303	6,119,756
短期借入金	4,180,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,593,273	1,415,596
未払金	364,320	211,866
未払費用	293,949	301,383
未払法人税等	75,241	62,961
製品保証引当金	9,384	9,384
その他	533,386	497,833
流動負債合計	13,853,858	13,618,782
固定負債		
長期借入金	3,051,810	2,379,012
繰延税金負債	9,829	3,550
再評価に係る繰延税金負債	537,019	537,019
退職給付引当金	477,592	484,461
役員退職慰労引当金	13,712	16,546
環境対策引当金	16,964	16,964
資産除去債務	84,126	84,875
その他	235,043	206,751
固定負債合計	4,426,097	3,729,181
負債合計	18,279,956	17,347,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,649,580	3,649,580
資本剰余金	2,840,440	—
利益剰余金	△2,812,790	135,018
自己株式	△1,673	△1,673
株主資本合計	3,675,555	3,782,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,188	△14,488
土地再評価差額金	980,842	980,842
為替換算調整勘定	△175,929	△164,376
その他の包括利益累計額合計	816,101	801,977
純資産合計	4,491,657	4,584,902
負債純資産合計	22,771,613	21,932,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	13,044,025	13,484,937
売上原価	11,339,940	11,823,889
売上総利益	1,704,085	1,661,048
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	128,094	143,058
給料	673,201	698,120
退職給付費用	32,640	31,808
その他	503,884	531,146
販売費及び一般管理費合計	1,337,822	1,404,133
営業利益	366,263	256,914
営業外収益		
受取利息	251	545
受取配当金	2,533	2,367
受取賃貸料	3,986	4,064
助成金収入	1,808	34,834
貸倒引当金戻入額	3,635	3,231
その他	9,606	9,754
営業外収益合計	21,822	54,798
営業外費用		
支払利息	91,300	71,536
売上債権売却損	17,662	28,816
為替差損	30,388	37,249
その他	3,303	11,400
営業外費用合計	142,654	149,002
経常利益	245,431	162,709
特別利益		
投資有価証券売却益	6,168	—
特別利益合計	6,168	—
税金等調整前四半期純利益	251,600	162,709
法人税、住民税及び事業税	42,234	48,597
法人税等調整額	△2,944	6,743
法人税等合計	39,290	55,340
少数株主損益調整前四半期純利益	212,309	107,368
四半期純利益	212,309	107,368

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	212,309	107,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,265	△25,677
為替換算調整勘定	△3,759	11,553
その他の包括利益合計	△15,024	△14,123
四半期包括利益	197,285	93,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,285	93,245
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	251,600	162,709
減価償却費	180,698	164,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,011	6,869
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,179	2,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,635	△3,181
受取利息及び受取配当金	△2,785	△2,913
支払利息	91,300	71,536
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,168	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,158,621	1,381,558
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△477,467	△815,515
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	36,549	7,071
仕入債務の増減額 (△は減少)	38,046	△695,205
未払費用の増減額 (△は減少)	12,252	7,259
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106,170	△78,372
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△56,512	13,374
その他	18,766	34,601
小計	1,149,926	257,418
利息及び配当金の受取額	2,785	2,913
利息の支払額	△97,937	△98,645
法人税等の支払額	△73,653	△57,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	981,120	104,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△83,811	△324,618
投資有価証券の売却による収入	15,819	—
その他	△2,487	△49,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,479	△393,909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	462,000	820,000
長期借入金の返済による支出	△1,385,836	△850,475
リース債務の返済による支出	△38,700	△50,101
自己株式の取得による支出	△190	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△962,726	△80,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△720	5,149
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,805	△364,836
現金及び現金同等物の期首残高	1,273,340	1,043,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,180,534	678,221

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月25日開催の定時株主総会の決議により、資本準備金の額2,840,440千円の全額をその他資本剰余金に振替え、また振替後のその他資本剰余金2,840,440千円の全額を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補を実施しました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本剰余金が2,840,440千円減少し、利益剰余金が2,840,440千円増加しております。

(6) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,932,852	3,493,304	3,085,118	532,750	13,044,025	—	13,044,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	331	1,589	4,081	1,925,544	1,931,546	△1,931,546	—
計	5,933,184	3,494,893	3,089,199	2,458,295	14,975,572	△1,931,546	13,044,025
セグメント利益又は損失 (△)	306,478	26,569	△36,663	78,474	374,858	△8,595	366,263

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	374,858
全社費用	△33,158
セグメント間取引消去	47,490
その他	△22,926
四半期連結損益計算書の営業利益	366,263

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,223,431	3,747,572	2,839,122	674,811	13,484,937	—	13,484,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,076	—	2,101,282	2,102,359	△2,102,359	—
計	6,223,431	3,748,649	2,839,122	2,776,093	15,587,297	△2,102,359	13,484,937
セグメント利益又は損失 (△)	317,564	35,003	△92,901	80,255	339,922	△83,007	256,914

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,922
全社費用	△144,112
セグメント間取引消去	57,396
その他	3,708
四半期連結損益計算書の営業利益	256,914

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産および受注の状況

① 生産実績

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器	6,247,537	105.7
メカトロニクス機器	3,761,245	109.2
電源・エネルギー機器	2,822,316	87.1
その他	125,361	114.5
合計	12,956,461	102.0

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額は販売価格によっております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器	7,717,338	115.3
メカトロニクス機器	3,831,152	103.4
電源・エネルギー機器	3,383,519	106.4
その他	674,811	126.7
合計	15,606,821	110.6

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。